

第7章 街づくり 第3節 道路

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			環境影響	
			会計	投入コスト		活動実績(H30)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	有益なもの	有害なもの	
道路建設課	実施計画ランク	事業の種類	H29予算現額	H29決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	成果指標の目標を達成できなかったものの「所沢市生活道路拡幅整備要綱」に基づき市民の生活環境の向上を図っている。	H30年度に改善した点	有	有		
		■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	158,000千円	145,287千円											
		根拠法令	H30予算現額	H30決算額(見込み)	①後退用地寄付面積 ②後退用地寄付件数 ③	生活道路後退用地取得率	過去3年の後退用地寄付延長の平均の1割増(m)							H30目標値が未達成の理由・分析	特になし
		所沢市生活道路拡幅整備要綱	156,000千円	139,985千円											
		事業の具体的な内容及び目的	H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合	実績	H29年度目標	H29実績	H30目標値が未達成の理由・分析						後退整備の申請件数が前年度より減少したため、目標値まで達成しなかった。	
		市道に接する敷地で建築行為等を行う際、道路中心から2.1mの後退用地の協力を得て、その後退用地の舗装整備を行うものである。また、緊急対策として、市民からの要望等をもとに狭い道路において待避所などの整備を行う。	3.10人	0.00人											
		期間	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	①1869.46㎡ ②106件 ③	H30年度目標	H30実績	R元年度目標						3,665m	3,528m
		平成8年～	3.20人	0.00人											
			H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合	①1869.46㎡ ②106件 ③	H30年度目標	H30実績	R元年度目標						4,034m	3,452m
			26,304千円	0.00人											
		H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	①1869.46㎡ ②106件 ③	H30年度目標	H30実績	R元年度目標	4,034m	3,452m						
		3.20人	0.00人												
		H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合	①1869.46㎡ ②106件 ③	H30年度目標	H30実績	R元年度目標	3,810m	3,810m						
		26,816千円	0.00人												

道路建設課	実施計画ランク	事業の種類	H29予算現額	H29決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	COOL JAPAN FOREST構想事業の全体像が流動的で、事業内容が確定できないため、単年度取組目標とする。	H30年度に改善した点	有	有
	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	49,957千円	42,893千円										
	根拠法令	H30予算現額	H30決算額(見込み)	①市道2-572号線東川右岸護岸工事 ②市道2-561号線外1路線詳細設計 ③	平成30年度東川右岸護岸工事 令和元年度市道2-572号線改良工事 市道2-561号線・2-996号線交差点改良工事	COOL JAPAN FOREST構想事業の全体像が流動的で、事業内容が確定できないため、単年度取組目標とする。		H30目標値が未達成の理由・分析	将来目指す大型観光バスのルートを産業経済部が決定したため、バスルート路線の改良計画を策定した。				
	道路法、河川法、土地収用法	147,194千円	46,634千円										
	事業の具体的な内容及び目的	H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合	実績	H29年度目標	H29実績	H30目標値が未達成の理由・分析	市道2-572号線東川護岸工事において、支障となる電柱移設の遅れにより今期の非取水期内に工事を完了することが出来ず、進捗率は70%に留まった。市道2-561、2-996号線の詳細設計・用地測量は完了した。					
	「COOL JAPAN FOREST」構想の拠点施設である「ところざわサクラタウン」を中心とした半径約500m圏内の重点推進エリアにおいて交通環境整備を行うことにより、交通の円滑化を進めて行くものである。現在整備を計画している路線は市道2-572号線、市道2-561号線及び市道2-996号線の3路線である。	0.70人	0.00人										
	期間	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	①令和2年1月31日完了予定 ②平成31年3月22日完了 ③	H30年度目標	H30実績	R元年度目標	道路詳細設計 市道2-561号線及び市道2-996号線路線測量・道路概略設計	同左	市道2-572号線	市道2-572号線:70% 2-561、996号線:完了	市道2-561号線 用地測量・詳細設計	市道2-561号線・2-996号線交差点改良工事、市2-572号線道路改良工事
	平成28年～	1.15人	0.00人										
		H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合	①令和2年1月31日完了予定 ②平成31年3月22日完了 ③	H30年度目標	H30実績	R元年度目標	道路詳細設計 市道2-561号線及び市道2-996号線路線測量・道路概略設計	同左	市道2-572号線	市道2-572号線:70% 2-561、996号線:完了	市道2-561号線 用地測量・詳細設計	市道2-561号線・2-996号線交差点改良工事、市2-572号線道路改良工事
		5,940千円	0.00人										
		H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	①令和2年1月31日完了予定 ②平成31年3月22日完了 ③	H30年度目標	H30実績	R元年度目標	道路詳細設計 市道2-561号線及び市道2-996号線路線測量・道路概略設計	同左	市道2-572号線	市道2-572号線:70% 2-561、996号線:完了	市道2-561号線 用地測量・詳細設計	市道2-561号線・2-996号線交差点改良工事、市2-572号線道路改良工事
		9,637千円	0.00人										
建設総務課	実施計画ランク	事業の種類	H29予算現額	H29決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	国土調査完了区域において、座標値をもった道路境界確定図の整備を早期に進めるため、確定測量実施面積を指標とする。目標値は、当該年度に行うべき確定測量の対象面積。	H30年度に改善した点	有	有
	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	2,920千円	2,484千円										
	根拠法令	H30予算現額	H30決算額(見込み)	①単年度確定面積 ②確定測量累計面積	国土調査完了区域における確定測量実施面積	国土調査完了区域において、座標値をもった道路境界確定図の整備が着実に進められている。		H30目標値が未達成の理由・分析	立会地権者が複数個所に土地を所有している際には、何度も立会に呼ぶことのないように、立会日を調整した。				
	道路法・道路法施行規則・所沢市公共測量作業規程	2,955千円	2,128千円										
	事業の目的及び具体的な内容	H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合	実績	H29年度目標	H29実績	H30目標値が未達成の理由・分析	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み					
	【目的】座標値をもった復元可能な道路図面を整備することにより、生活道路の後退、拡幅、舗装工事、災害時の復元など、道路整備に反映させる。【内容】国土調査が完了した区域において、都市基準点を用いた道路の境界点測量を実施し、座標値をもった道水路の確定図面を整備する。	0.65人	0.00人										
	期間	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	①0.12km² ②33.04km²	H30年度目標	H30実績	R元年度目標	0.10km²	0.10km²				
	昭和53年度～	0.55人	0.00人										
		H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合	①0.12km² ②33.04km²	H30年度目標	H30実績	R元年度目標	0.10km²	0.10km²				
		5,515千円	0.00人										
		H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	①0.12km² ②33.04km²	H30年度目標	H30実績	R元年度目標	0.10km²	0.10km²				
		4,609千円	0.00人										
建設総務課	実施計画ランク	事業の種類	H29予算現額	H29決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	境界確認申請のうち90%以上の案件において、道水路境界を確定することができた。	H30年度に改善した点	有	有
	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	2,962千円	2,700千円										
	根拠法令	H30予算現額	H30決算額(見込み)	①申請件数 ②境界確定件数	申請により境界が確定した件数	境界確認申請に基づいて道水路境界の確定を目指して関係地権者との立会や調整を図り、境界を確定させることで適正な道水路境界確定図の整備が進められるため、境界が確定した件数とする。		H30目標値が未達成の理由・分析	立会日時については、立会地権者の都合を阻害しないように、個別の事情に配慮し、フレキシブルに対応を行った。				
	道路法・道路法施行規則・所沢市道水路境界確認事務取扱要綱	3,412千円	2,484千円										
	事業の目的及び具体的な内容	H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合	実績	H29年度目標	H29実績	H30目標値が未達成の理由・分析	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み					
	【目的】道水路境界を確定又は修正し、確定図を整備することにより、適正な道水路の維持管理を図るとともに、民有地の土地利用の促進を図る。【内容】関係地権者からの境界確認申請による調査・立会い。道路境界の確認・同意、道路境界標の設置、確定図の受理。	2.20人	0.40人										
	期間	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	①161件 ②155件	H30年度目標	H30実績	R元年度目標	160件	185件				
	昭和35年度～	2.20人	0.40人										
		H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合	①161件 ②155件	H30年度目標	H30実績	R元年度目標	160件	185件				
		18,667千円	0.40人										
		H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	①161件 ②155件	H30年度目標	H30実績	R元年度目標	180件	155件				
		2.20人	0.40人										
		H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合	①161件 ②155件	H30年度目標	H30実績	R元年度目標	160件	155件				
		18,436千円	0.40人										

第7章 街づくり 第3節 道路

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			環境影響	
			会計	投入コスト		活動実績(H30)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	有益なもの	有害なもの	
建設総務課	実施計画ランク	事業の種類別	H29予算現額	H29決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	市管理の道路照明灯の修繕について、迅速な修繕により適正な維持管理をすることができた。道路照明灯LED化整備事業によるリース物件の道路照明灯の維持管理については、リース事業者と連携し効率的な管理が行われた。	H30年度に改善した点	有	有		
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	135,552千円	128,635千円	①必要な修繕灯数	修繕完了灯数	目標値: 想定される修繕灯数 実績: 修繕実施灯数								
	根拠法令	所沢市照明灯設置基準	H30予算現額	H30決算額(見込み)	②修繕実施灯数		H29年度目標	H29実績							
	事業の目的及び具体的な内容	【目的】歩行者、自転車及び車両の夜間交通の安全確保及び円滑かつ快適な利用を図る。 【内容】道路照明灯の新設・維持管理を行う。また、リース対象の8,602灯についてはリース料を支払う。	136,558千円	135,439千円	③電気料支払灯数									H30目標値が未達成の理由・分析	
	期間	昭和53年度～	H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合	実績	350件	172件								
			0.65人	非常勤特別職		H30年度目標	H30実績								
			5,515千円	臨時職員	0.00人	200件	128件								
			H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	①128灯	R元年度目標									
			0.50人	非常勤特別職	②128灯										
			4,190千円	臨時職員	0.00人	200件									
				③10,578灯											
						目標達成済 (目標値は想定される修繕灯数であり、実際の修繕灯数が目標値を下回っているが、修繕灯数自体が少ないことが良いものと判断したため、目標達成とした。)									
建設総務課	実施計画ランク	事業の種類別	H29予算現額	H29決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	防犯灯補助金については、各自治会等からのLED化の要望が多く、すべての要望に応えることはできなかったが、防犯灯LED化整備事業と合わせて、LED化の促進を図ることで、ほとんどの防犯灯をLED灯にすることができ、安全なまちづくりに資することができた。	H30年度に改善した点	有	有		
	優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	38,187千円	36,568千円	①新設費補助金	補助金交付額	目標値: 予算額 実績: 補助金交付額								
	根拠法令	所沢市防犯灯補助要綱	H30予算現額	H30決算額(見込み)	②維持管理費補助金		H29年度目標	H29実績							
	事業の目的及び具体的な内容	【目的】夜間における道路上的での犯罪被害の防止及び、安全な都市空間を実現。 【内容】自治会等が設置、維持管理する防犯灯に対し新設費(交換を含む)及び維持管理費の一部を助成する。また、リース対象の7,068灯については、リース料を支払う。	44,290千円	43,575千円	③リース防犯灯数									H30目標値が未達成の理由・分析	
	期間	昭和53年度～	H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合	実績	36,100千円	34,878千円								
			1.55人	非常勤特別職	0.00人	H30年度目標	H30実績								
			13,152千円	臨時職員		24,006千円	23,291千円								
			H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	①補助額 3,221千円 補助灯数 127灯	R元年度目標									
			0.59人	非常勤特別職	0.00人	24,006千円									
			4,944千円	臨時職員	0.00人										
				②補助額 20,070千円 補助灯数 13,112灯											
				③7,068灯		目標達成済									
道路建設課	実施計画ランク	事業の種類別	H29予算現額	H29決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		C	用地交渉が滞っている状態であるため、詳細設計も実施することができず、進捗がなかった。	H30年度に改善した点	有	有		
	最優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	3,500千円	2,700千円	①詳細設計	歩道の築造進捗率	橋りょうの築造にあたり、大きく4段階に分けられるので、それぞれ達成ごとに25パーセント達成した事とする。 ①設置検討→②設計→③用地購入→④歩道設置工事								
	根拠法令	道路法、河川法、土地収用法	H30予算現額	H30決算額(見込み)	②		H29年度目標	H29実績							
	事業の具体的な内容及び目的	柳瀬川に架かる松戸橋は、安松地区から通勤・通学のため西武池袋線秋津駅及びJR武蔵野線新秋津駅へ向かう市民が多く利用している橋であるが、橋の幅員が約5.4mと狭いことから、歩行者の通行時に車と接触する恐れがあり、危険な状況となっている。こうしたことから、歩行者の安全を確保し利便性の向上を図るため、既存の橋に隣接する歩道橋を設置するものである。	0千円	0千円	③									H30目標値が未達成の理由・分析	
	期間	平成29年度～	H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合	実績	50.0%	50.0%								
			1.35人	非常勤特別職	0.00人	H30年度目標	H30実績								
			11,455千円	臨時職員	0.00人	75.0%	50.0%								
			H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	①未実施	R元年度目標									
			0.55人	非常勤特別職	0.00人	75.0%									
			4,609千円	臨時職員	0.00人										
				②											
				③		歩道設置に必要な用地を取得するにあたり、用地交渉が滞っている状態であるため。									
道路建設課	実施計画ランク	事業の種類別	H29予算現額	H29決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	成果指標の目標を達成している。	H30年度に改善した点	有	有		
	最優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	75,000千円	27,800千円	①左岸橋りょう下部工事	橋りょうの築造進捗率	橋りょうの築造にあたり、大きく5段階に分けられるので、それぞれ達成ごとに20パーセント達成した事とする。 ①設計→②用地購入→③右岸上流護岸工事・右岸橋りょう下部工事→④左岸護岸工事・左岸橋りょう下部工事→⑤橋りょう上部工事・市道接続部道路工事・右岸下流護岸工事								
	根拠法令	道路法、河川法、土地収用法	H30予算現額	H30決算額(見込み)	②左岸護岸工事		H29年度目標	H29実績							
	事業の具体的な内容及び目的	所沢市側への接続通路が、新柳瀬橋しかない大字下安松清流苑地区での、災害時における避難路等の確保のため、新たに「第二の橋」として橋の築造を行うものである。また、橋の築造に併せて市道1-892号線についても整備を行う。	146,722千円	62,638千円	③									H30目標値が未達成の理由・分析	
	期間	平成26年度～	H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合	実績	60.0%	60.0%								
			0.80人	非常勤特別職	0.00人	H30年度目標	H30実績								
			6,788千円	臨時職員	0.00人	75.0%	75.0%								
			H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	①令和元年6月26日完了	R元年度目標									
			0.70人	非常勤特別職	0.00人	100.0%									
			5,866千円	臨時職員	0.00人										
				②令和元年6月26日完了											
				③		目標達成									

第7章 街づくり 第3節 道路

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			環境影響	
			会計	投入コスト		活動実績(H30)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	有益なもの	有害なもの	
道路建設課	実施計画ランク	事業の種類	H29予算現額	H29決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	成果指標の目標を達成している。	H30年度に改善した点	有	有		
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	16,348千円	14,299千円	①市道舗装整備実施件数 ②私道舗装整備実施件数 ③	舗装整備工事実施件数	予算配分に基づき、市民からの要望の申請順に舗装路線数(目標工事件数)を決定する。								
	根拠法令	道路法、所沢市私道舗装要綱	H30予算現額	H30決算額(見込み)			14,800千円	9,720千円							
	道路舗装事業	事業の具体的な内容及び目的	H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合	実績	H29年度目標	H29実績	H30目標値が未達成の理由・分析							
	市民からの未舗装道路の舗装要望に基づき、ほこりや騒音、水溜り等を防止し、生活道路としての機能的な整備と良好な住環境の改善を図るため市道及び私道の舗装整備を行うものである。	0.85人	非常勤特別職 0.00人	市道3件・私道3件		市道3件・私道1件									
	期間	昭和25年～	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	①1件	H30年度目標	H30実績	目標達成							
		0.30人	非常勤特別職 0.00人	②2件	市道1件・私道2件	市道1件・私道2件									
		2,514千円	臨時職員 0.00人	③	R元年度目標										
					私道2件										
道路維持課	実施計画ランク	事業の種類	H29予算現額	H29決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	歩行者と自転車を分離することで安全性を確保した。	H30年度に改善した点	有	有		
	最優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	0千円	0千円	①自転車レーン設置工事	自転車レーン整備の実施延長(m)	歩行者、自転車の通行の安全性を確保するため、道路状況に応じた自転車レーンを整備することが目的になっているため、その整備延長をもって指標とする。								
	根拠法令	道路法、道路構造令、道路交通法、所沢市道路の構造の技術的基準等を定める条例、所沢市移動円滑化のために必要な道路の構造に関する基準を定める条例	H30予算現額	H30決算額(見込み)			14,202千円	14,202千円							
	自転車レーン整備事業	事業の具体的な内容及び目的	H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合	実績	H29年度目標	H29実績	H30目標値が未達成の理由・分析							
	歩道内における歩行者と自転車の接触事故の軽減を目的として歩行者と自転車の分離により、安全性を確保するとともに地域のニーズに応じた自転車通行レーンを整備する。	0.00人	非常勤特別職	-		-									
	期間	H30～	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	①1,815.7m	H30年度目標	H30実績	目標達成済							
		0.65人	非常勤特別職		1,032m	1,815.7m									
		5,447千円	臨時職員		R元年度目標										
					1,535m										
道路維持課	実施計画ランク	事業の種類	H29予算現額	H29決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		C	市民要望を優先して巨木化したケヤキなどの剪定等を実施しているため、管理状態にバラツキがある。また、樹木診断を実施し、倒木の可能性がある木については伐採等を行い、事故防止に努める。	H30年度に改善した点	有	有		
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	101,000千円	100,999千円	①高・中・低木剪定数 ②除草 ③樹木診断	街路樹剪定・除草実施延長(km)	道路の景観や道路交通の安全確保を目的とするため街路樹の剪定や除草実施延長を指標とする。								
	根拠法令	道路法、道路構造令、所沢市道路の構造の技術的基準等を定める条例、所沢市移動円滑化のために必要な道路の構造に関する基準を定める条例	H30予算現額	H30決算額(見込み)			106,900千円	106,737千円							
	街路樹管理事業	事業の具体的な内容及び目的	H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合	実績	H29年度目標	H29実績	H30目標値が未達成の理由・分析							
	幹線道路等の樹木剪定や植樹帯の除草を定期的に行い、街路樹の目的や機能を十分発揮させることにより、道路環境の整備はもとより良好な都市景観の形成と快適な生活空間を創出する。	3.00人	非常勤特別職	57		34									
	期間	S49～	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	①3,151本	H30年度目標	H30実績	厳しい財政状況ではあるが、要望の多い路線を優先して実施しているため。							
		3.75人	非常勤特別職	②53,500.1㎡	57	34									
		31,425千円	臨時職員	③100本	R元年度目標										
					58										
道路維持課	実施計画ランク	事業の種類	H29予算現額	H29決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	市民からの通報や道路パトロールにより、道路の危険状況を把握し、迅速に修繕を行うことにより事故防止に努める。	H30年度に改善した点	有	有		
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	620,520千円	620,140千円	①要望・通報件数 ②道路補修改修工事 ③道路清掃	要望・通報に対する処理割合	老朽化した道路を修繕することが目的のため、要望・通報件数に対して処理した件数の割合を指標とする。								
	根拠法令	道路法、道路構造令、所沢市道路の構造の技術的基準等を定める条例、所沢市移動円滑化のために必要な道路の構造に関する基準を定める条例	H30予算現額	H30決算額(見込み)			621,428千円	621,189千円							
	道路施設維持管理事業	事業の具体的な内容及び目的	H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合	実績	H29年度目標	H29実績	H30目標値が未達成の理由・分析							
	老朽化が進行した道路や、機能が低下した道路施設を計画的に修繕し、道路利用者の安全を確保するとともに、沿道の生活環境の改善を目指す。	13.00人	非常勤特別職	100%		95.45%									
	期間	S25～	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	①3,293件	H30年度目標	H30実績	多様化・複雑化している要望が多くなり、解決にいたるまで多くの時間を要する案件や財政状況により年度内に完了できていない案件があるため。							
		11.05人	非常勤特別職	②10路線 1,572.4m	100%	97.90%									
		92,599千円	臨時職員	③路面 10路線(23,900m) 枡 92箇所 U字溝 210m	R元年度目標										
					100%										

